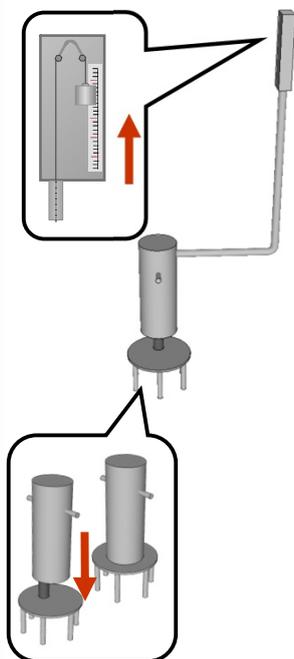


# オートグラウトホール



## 『オートグラウトホール』の設置目的

空洞量の調査孔として底版下地盤の空洞の発生を観測する。

グラウト注入孔として底版下地盤に空洞が発生した場合にグラウトによって空洞を充填する。

## 『オートグラウトホール』の特徴

本計測器は、グラウトホールにワイヤー付きの沈下板を設置したものであり、計測箱の中の目盛を計測することで空洞量を計測するものである。

オートグラウトホールは、従来の課題であった地下水の噴き出しや堆積土砂・内水の影響を受けずに計測することが可能になる。

(空洞量は樋門タイプで200mmまで計測可能、水門タイプで1000mmまで計測可能である。)

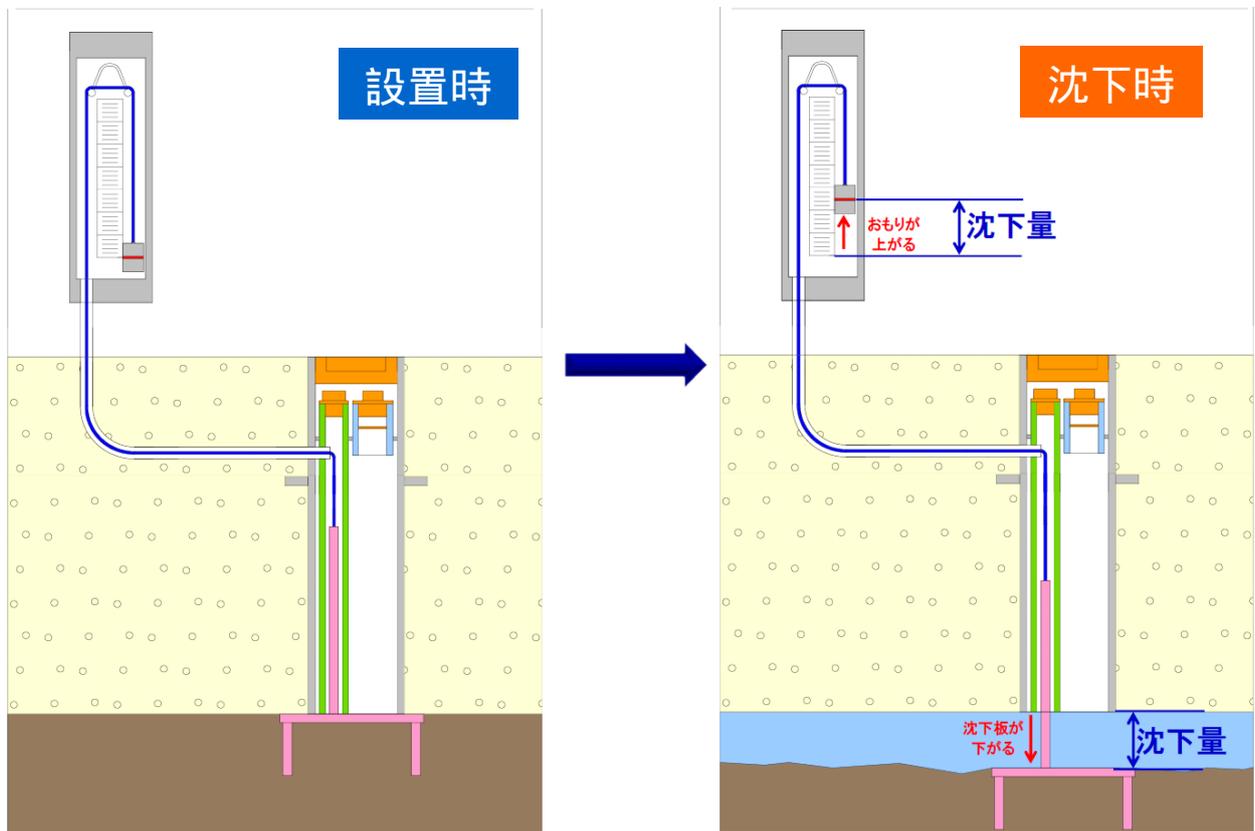
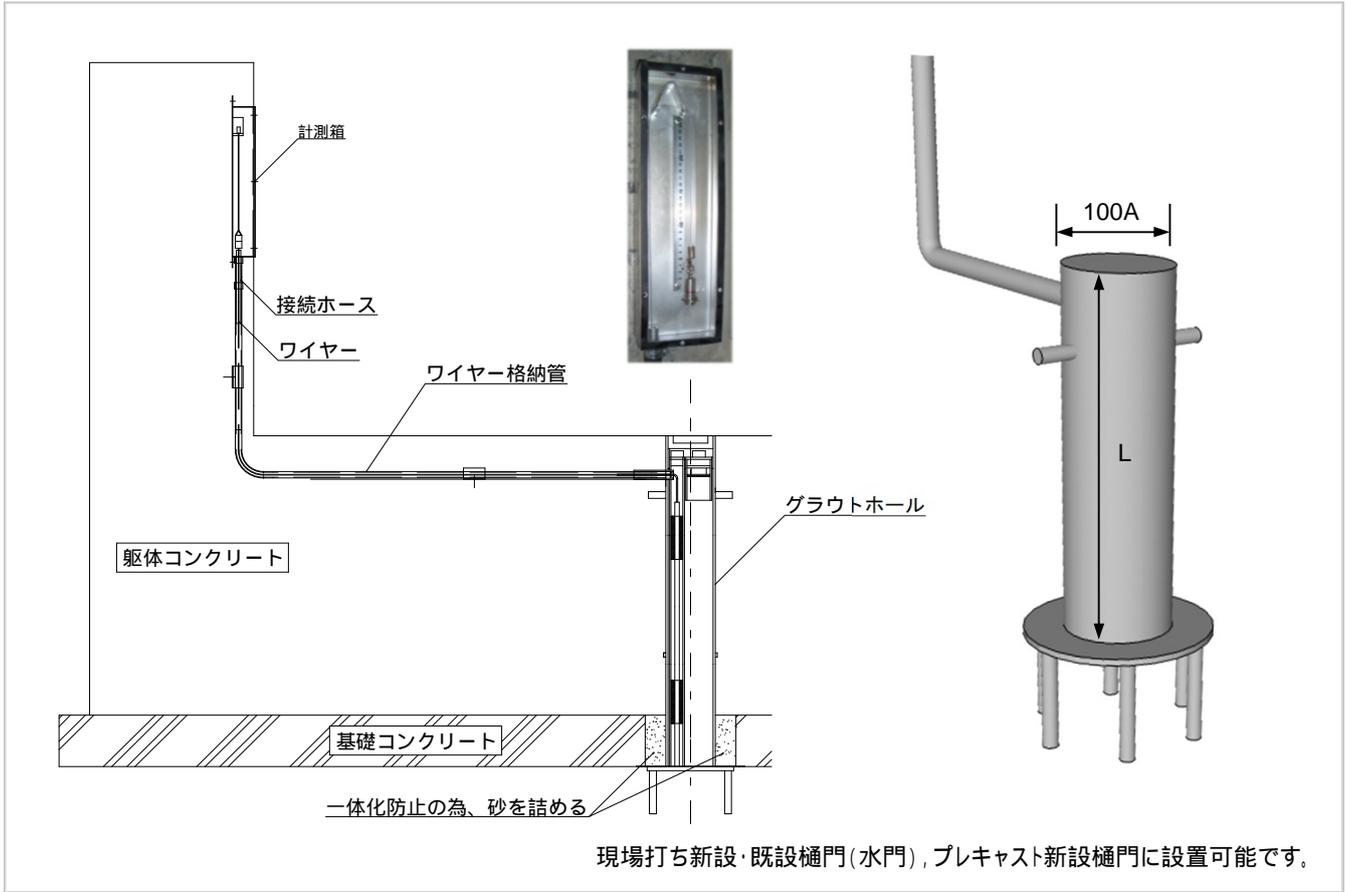
洪水・地震の影響の確認を簡易にできる。

部品のほとんどがステンレス製であり耐久性に優れている。

新設構造物のほかに既設構造物にも設置ができる(\*)。

(\*)鉄筋やPC鋼材の配置・地下水位によっては、後付け設置できない場合もあります。

# 『オートグラウトホール』の構造

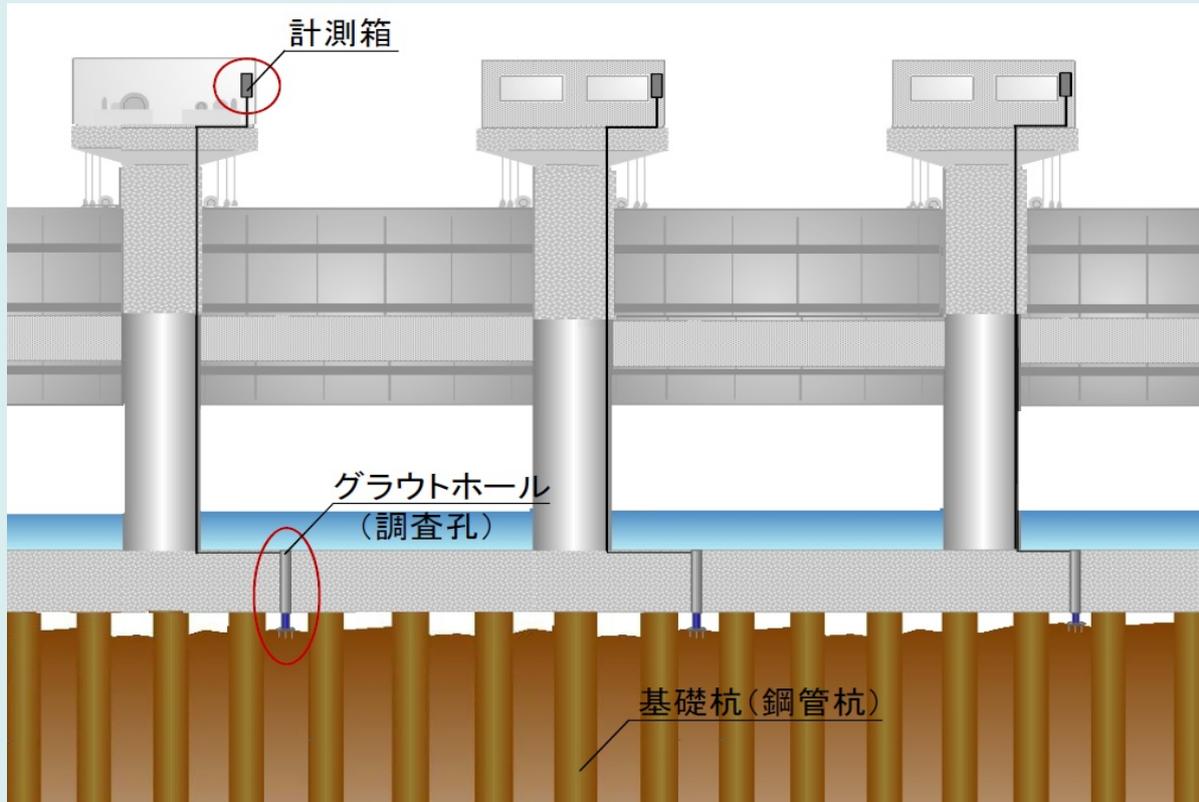


## 注意事項

構造物底版下部に空洞化が発生し、グラウトホールを利用してグラウト注入した場合、以後オートグラウトホールでの計測はできなくなります。

# 『オートグラウトホール』の設置例

## 水門の例

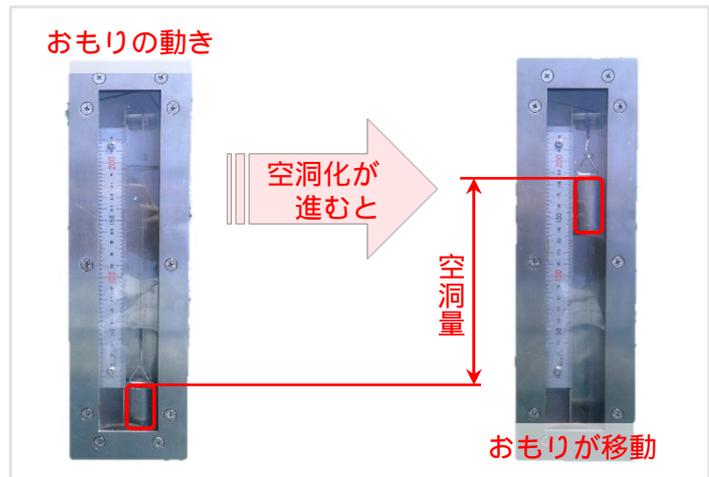


## 新設の樋門での事例

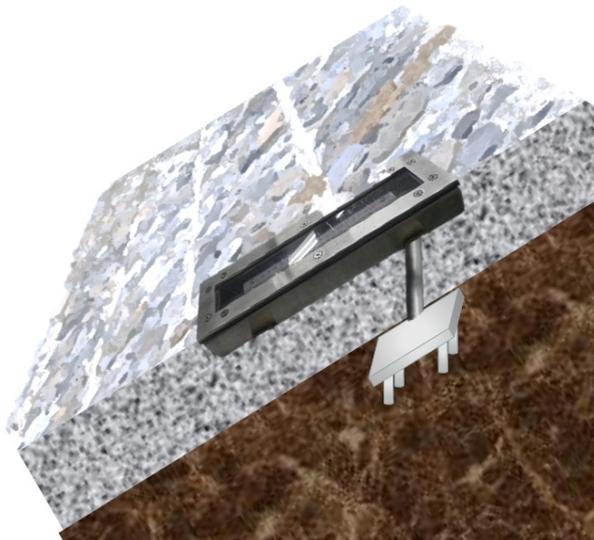


## 【空洞ゲージ】 護岸ブロック下の 空洞量調査機器

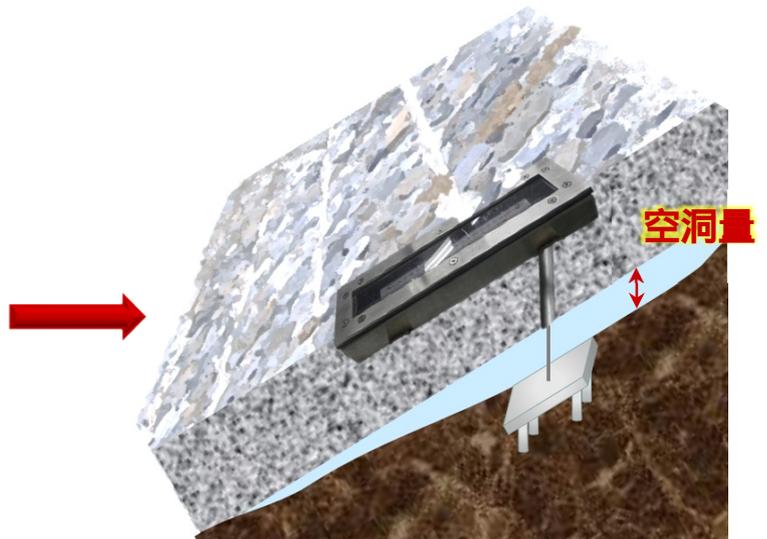
空洞ゲージ内の「おもり」が護岸ブロック下部に設置された沈下板とワイヤーで連動しており、空洞が発生した際には沈下板が地盤と共に下がり、それに連動して「おもり」が上部に動き空洞量を確認できる。



### 設置時



### 空洞発生時



## オートグラウトホールのお問い合わせ先

製造・販売元



**日新興業 株式会社**

Reliance • Innovation • Challenge

仙台営業所

〒981 - 3133 宮城県仙台市泉区泉中央1-9-2  
アバンサール泉中央ビル2F

TEL:(022)341-3637

FAX:(022)341-3638

本社

〒882 - 0812 宮崎県延岡市本小路74番地

TEL:(0982)33-2455(代表)

FAX:(0982)21-3745

URL:<http://www.nissinkohgyo.co.jp>